

株式会社高崎高島屋

所在地：高崎市旭町45
労働者数：321名（女性253名、男性68名）
事業内容：百貨店
代表者：代表取締役 影山 勝



ワークライフバランスの取組み

ワークライフバランスへの支援は持続可能な社会への貢献であり、企業にとっても人材の確保・定着、仕事の意欲の維持・向上などのため必要不可欠な取り組みであり、経営環境や社会的要請を踏まえて取り組みを継続することが必要です。

女性が多い企業として、子育て支援はもちろんのこと、男性の育児支援や介護・健康への取り組みとともに、就労管理・ハラスメント対策など労務コンプライアンス遵守に取り組んでいます。

及川 取締役



育児休業取得者のフォロー

育児休業者に対しては、円滑な職場復帰に向け、休業期間中に閲覧できる育児休業者向けのホームページの開設や復職後の懇談会を実施し、仕事と育児の両立ができるようサポートを行っています。育児勤務のパターンは6パターンあり、柔軟な対応ができるよう取り組んでいます。

当社においては、育児休業後、短時間の育児勤務期間を経て、現在職場の管理監督者として活躍している職員が、販売現場、後方スタッフ含め複数います。

育児休業、育児勤務を経て、現在人事担当係長として活躍する本田さん



高崎高島屋は、働き方の見直しを進めています。

年次有給休暇の取得促進

- ・年次有給休暇の取得促進運動として、バースデー休暇・アニバーサリー休暇などの名目を設定し、取得促進を図っています。
- ・年次有給休暇の取得実績は1人あたり年平均11.5日（平成26年度）となっています。

時間外労働の削減

- ・業務遂行五カ条の策定により所定時間内での業務遂行について徹底を図っています。
- ・多様な職場・業務に対応するため、複数の勤務方法を設定し、超過勤務の発生しない取り組みを推進。
- ・時間外労働の実績は1人あたり年平均約40時間（平成26年度）となっています。

高崎高島屋の概要を紹介します。

- ・高島屋グループは、国内19店舗、海外3店舗を持つ百貨店グループであり、高崎高島屋はそのグループの店舗として、昭和52年10月1日、高崎駅前に開店いたしました。
- ・「いつも、人から」というグループの経営理念を基に、人の心を大切にする精神で営業活動を行っております。
- ・企業として『**変わらないのに、あたらしい**』というメッセージを発信し、守りたいことはそのままに、時代が求める変化には柔軟に、お客様に喜んでいただくために、全員が心をひとつにして、進化を続けていきます。

男性の育児休業を促進

男性は長期的な育児休業を取得しにくい環境にあるため、短期間（2週間以内）の育児休業制度（有給）を設定し、育児に専念しやすい環境を整備しています。

（育児休業を取得した山田さんのコメント）

短期間の取得でしたが、育児に関して妻のサポートを行うことができました。また、職場のメンバーにも理解・協力をいただくことができ、とても感謝しています。

育児休業を取得した山田さん



「くるみん」がCSR経営の中核

当社としては、ホームページに企業としてのワークライフバランスの取り組み、くるみんマークの取得について公開させていただき、CSR経営の核となっています。

また、名刺にくるみんマークを印刷することにより、子育て支援強化をアピールさせていただいております。

今後はすべての従業員の能力発揮に向け、ダイバーシティを尊重する企業として、総合力の発揮に向けた取り組みを強化していきます。

くるみんマークの活用



育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…子が3歳に達するまで取得可能。期間が2週間以内の場合は有給。男性が2名、女性が16名取得。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が小学校4年生就学に達するまで利用可能。女性19名が利用。
- ・**子の看護休暇**…二親等以内の親族が傷病にかかり看護を要する場合、年15日間利用可能。女性2名が利用。
- ・**介護休暇**…二親等以内の親族が傷病により要介護状態となり介護を要する場合、年15日間利用可能。男性1名、女性3名が利用。
- ・**介護休業**…要介護状態の家族介護のため、通算1年間利用可能。
- ・**介護短時間勤務制度**…要介護状態の家族介護のため、通算1年間利用可能。

※ 取得率等のデータは、平成23年4月～平成26年12月までの実績